(七八日夕刊)

休刊　大祭日　第一・第三日曜

定價　一ヶ月　六十錢　郵稅　十五錢

廣告料　壹行六十錢　特殊廣告相談

福島縣平町四町目十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六番

人無き朝を心ゆく迄泣かせて貰ひました

本紙の追憶記事を見て

櫻井未亡人涙の書簡

次は去る十二日の本紙に載せた十三日會の物故三校長追悼座談會記事中亡き夫君に關する記者の舊稿に今更眷戀思慕の涙に咽はれた櫻井未亡人が遠く北陸の天地から本紙の遠沼副社長に寄せた書信の全文で側々人を動かす未亡人の眞情が流露してゐる

◇

◇今度は大森様の奥様の御厚意によつて御紙を拜讀いたされまことに幸をいたしましたいつか平の座敷で御目にかゝりましてから五年たつかと思ふのでございました、昨今は定免し平和な御家庭を御營み遊ばさる御事とぞんじ上げて居ります、どうぞ北陸地方へ御出ましの折には是非御立寄り頂き度うぞんじます。

◇さてこの度は亡き夫等の追悼會をす三日會の方々が御開き下さいました由、千草にすだく虫の音さへいとあわれに物思はしきこの秋に適したた集りとた禮を申上ます、生前格別なる御厚意を頂いて居りました上尚死後の今日かゝる會をお催し下さいましたことはほんとうに何よりの仕合せでございます、眼には見わすども双手を擧げて喜んで居られませう私よりも改めて御禮を申上ます。

◇私共に關する記事には一つ〳〵が感無量のものがしましたいつか平の座敷でございまして幸に人なき朝年たつかと思ふのでございた『梅干が磨る、鼠が居なくなる』何度手入れして念入れにいたしましても又うすいかび臺所で幾度が不審の首をかゝげた私でございました、火事に逢ふ時鼠が逃げると聞いてゐたので一層火の要心してゐて一寸の火にも注意怠りなかつたのでございましたが何ぞ計らんこんな不幸に逢ふ身とは神ならぬ夢にだも。

◇今にして想へば暮以來いくらか健康を害して居られた主人の身を一層注意せなかつたのが私共の悲かさでございます、嗚呼午前三時より六時までの私は、今尚思ひ出の時刻でございます不思議に一夜を蚊と犬の悲しき鳴き聲に過した刹那電報の聲わなゝく手にて讀みもせし一字〳〵、時すでに長男に申聞かせました覺悟の旨しかし乍ら尚萬一の望みをかけて小名濱さして。

◇看護もせず最後の言葉も聞かれない私共は實に淡い緣を結んだ者でございますす泣きたいにも泣けない場合でございましたあの炎天數日の御暑いに大勢の方々の御厚意はいつの世にかわすれませう、その御恩返しもせず亡き人の四十九日もすまさないのに早々と最後の地を出發いたしました事は長男の入學準備の爲めとはいひあまりにもすまない事でございました近き將來に於て御わびに參られます事とひたすら待ちに待つて居るのでございます。

◇師郷いたしました私共は哀愁の表現たる秋にも四幸にも一回無事にて六人の子供も五人までは學校へ參たび逢ふのでございます、りましてあの當時泣く事より仕事のなかつた酒子も五つになりまして盛んに茶目振つて居ります來春は長男もおかげさまで四高ダ7卒業いたしますが工科の方へ志ますので大學への入學はどうかと案じられて居りますが何も運命の然らしむる處と私もいくらか樂天的になりましたが半身枯れた主木の枝葉はなか〳〵に茂りそうもございません。

◇けれど神佛の御加護にたすがりして只々我が使命を果し度いと御祈りするばかりでございます、又いつか折のあります時平の皆さ樣によろしく御傳へを御願ひ申上度うございます。

◇わが金石町は衰微して行くばかりの小な港でございまして鐵道全通以前の賑やかさは殆んどございませんが、金澤市を里餘にひかへて師團の存在の關係上時代軍艦が沖にかゝります一昨年と昨年は海軍の檢閲のために天龍阿武隈を過日四日より七日までは航空母艦加賀及び野風、神風の三艦が拜艦を許され時ならぬ賑しさを呈しました。

◇夕陽落る日本海を眺めては轉々人生の何者かと偲んで居る次第はるかに御盛榮を御祈り申上て居ります先づは思ひ出のまゝに（石川縣金石町本町にて）

—（今月今日）—

△貴衆兩院爲く（大正一四）△京大學生事件豫審終結三十八名有罪と決定（同一五）△海軍飛行機青島を襲ひ爆彈を投下して汽艇を破る（大正三）△岩本昆寛歿す、彫金の名工（享和元）△橘博雅薨す、延喜帝の皇孫で當時音樂の天才である琴笛のひちりき繼ての絶倫の妙技を有し全く社神秘の域に入ると云ふ、その神秘的の逸話美談はそぞろに感興を催さしむ（天元三）

映畫欄

帝キネ通信

モダン娘に大鐵槌多く問題を含む

「與へられた武器」

金力を與へられた武器としてあらゆるものを支配しやうとする男性に敢然反抗して起つた女性が唯一の「與へられた武器」とは？この女性永久の問題をテーマとして讀書誌上にセンセーションを起した「與へられた武器」の映畫化は帝キネ畫部長の椅子にある間瀬良太監督と相當苦心を進行中であつたが、愈々近日完成の運びとなつた歌川八重子の扮するヒロインのモデルは曾て××の女王として現在は此事件に依つて獲得した愛の巢を營みつゝある、某名流人であると專ら噂されてゐるスカートの短長をエロの發散に憂き身をやつしてゐる現在の女性にとつてこの映畫はダイナマイト的强大さを以て一大示唆を與へるだらう封切上映は遲くも來月初旬である。

『ステラダラス』の日本化は『日向葵夫人』と題名決定

英百合子他オール

スターが出演

「神戸行進曲」を完成後帝キネ印南監督が直ちに着手し盤石の基礎を固めた譯で本年度の映畫界の活躍は前田孤泉が脚本執筆中であつたが此程その題名は「日向葵夫人」と決定した主演は既報の如く英百合子ほかに松本泰輔、歌川八重子、小川國松、近衛公子、小宮晃等のスター連が顔を並べる事になる模樣である。

村新氏就任

振影所に立花良介所長由修一總務を迎へ東京支社には小笹正人氏を支社長に任命し首腦部の陣容を固めた帝キネでは今又新たに本社營業部長にマキノにあつて敏腕を揮ひつゝあつた野村新氏が入社就任されて同社は盤石の基礎を固めた譯で本年度の映畫界の活躍は期界の一大脅威となるだらう。

ゴシップ

帝キネの印南監督が撮つてゐる「神戸行進曲」は過般帶在一週間のロケで神戸情緒を多分に取り入れたが、波止波の別れでどうしても泣けない山路ふみ子は困じ果て附添つて來てゐた母さんに相談したものだ、すると「船で出發する潮良さんがお母ちやんだと思つてご覽」と敎へて

帝キネの「旋風時代」はいろ〳〵の惹咏で問題視されてゐるが、何しろ變態監督の異名ある志波西果が縱橫の腕を振つてゐる處へ、鈴木澄子（お八重）の折紙つきのエロ發揮は見てゐるものゝアタマを惑亂させて了ふ凄さ、草間實（龍吉）がまたその道での猛者となり玆許エロの大旋風と御座い。

赤鞘安兵衛

談

東京　桃川燕二演
村田月光畫

（五十四）

二月三月は升屋喜兵衛の家の勘定も仕拂つたが座して食へば山も空し、まして多年の旅生活、安兵衛の懷中に莫大な金がある筈はない、四月目位からトント旅籠料を入れません、只旅籠賃だけならばそれ程勘定も上らないが、ガブ〳〵の大酒で底が知れない酒の方の勘定が旅籠代の三倍も四倍にもなる——「六三郎や」——「へゐ女將さん」……「裏二階の中山樣の勘定はもう二月も入らないぢやアないか」……「へゐ」……「彼れはなか〳〵裕福なお武家樣の御子息、尋ねる方があつて御出府なさつたのですが、其の方にの方から仕切りを喧ましく云つて參ります、今月の内に拂はんでは酒の荷が止まつてしまう斯うした稼業では一升買ひは出來ません、大きに當惑して主人も御家内も頭病鉢卷で居りますどうでせう此際假令一月分でもお拂ひを願ひたいと申しますが」……「氣の毒だが身供は殆んど一文もなくなつた、此の兩三日外出も致さん、折角の尋ね人も尋ねる事が出來んといふのは金が無いからだ、六三郎、外へ出ると金が入るな」——「江戸の町を一文も持たずに歩くのは歩く方が無理でございます、併し旦那へ手前の妹の緣によつてた宿をお願ひ申したら、蔭になり日向になり貴方のことは主人に好き樣に申してありますす、どうかマア何とか御工夫をなして下さいまして」……「工夫と云つても知り人もなし、何とも仕方ない何ぞ尋ねる人に會つ上は貴樣の家へは逃歌を掛げん、暫く待て」——「だが外を歩く、た小遣ひさいなくては、何時まで經つても探し出せ樣が無いぢやありませんかね……」……「ウム、それも然うだな、では六三郎外出のお小遣ひを貴樣の給金からでも借りて呉れないか」——「冗談云つちやア不可ません、た前のお給金は中山の旦那の勘定の方に押ゐると奥では申して居る位で、借出しは存じも付きません」——「俺の旅籠の代りにた前の給金を押ゐる、隨分譯の判らん亭主だな」——「夫れに旦那樣にお氣の毒なことは、今も申し上げたやうに酒問屋が荷を止めるとの掛合て、其の埒が明かないうちは、升屋には酒が無いことになります、從つて御注文があつても上げることが出來ません樣なことになります」——「ナニ酒を出さん」——「酒を出さんとは困る、酒なくて日も送れぬ人間だから、酒ぬとなつては聊か閉口と見だけは絶にぬやうにして呉え、暫く考へて居たが「オれ」……「それでは一月分だけでも御勘定を」——「其奴は困つた」流石物に頓着せぬ中山安兵衛も、酒を呉れ夫れだ、金は出來るぞ」と膝をポンと打つた。

指華微笑

◇

一碧の清空にこだまする銃聲、落ち葉を蹴つて走る愛犬の足掻き、何等の快心事ぞ、獵季近づく

◇

深夜の新田町街上食ひ過ぎの洋食を嘔く人、學校へ辨當持たぬ兒童

◇

再起面到らしい社長の癖●委に荒くれ男のた見舞代表泣く、眞に劇的シーン

◇

秋深みゆく平町へ惻々人を動かす櫻井未亡人の音づれ

▽……△

仁井田の掘り出し物も龜が甕で黄色いのがザーックザックと來れば本物だつた

吉田眼科病院

平町紺屋町

代表的レストラント

平南町本店
電四三九

平四丁目第一支店
四倉町　第二支店
電六八

洋食の昌
丸の内ホール

其の白熱的責行は何を物語るか？

左の病む人々に勸む

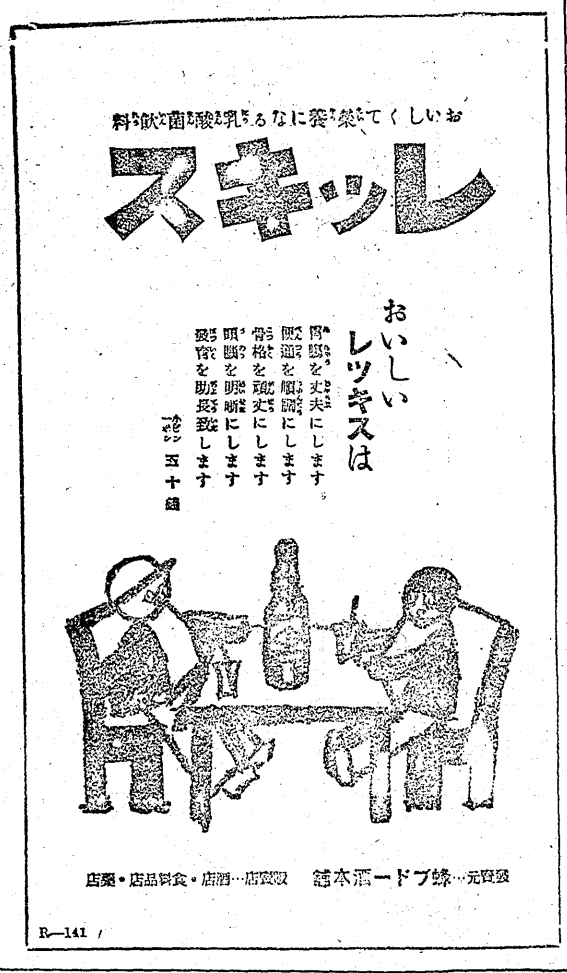
一、肺病、ロクマク、神經衰弱、胃病、婦人病、營養不良、に對する特異の靈効を有す。直ちに御試用を乞ふ。

平町五丁目角
販賣店　山野邊藥局
縣下一手

定價　試用分　一、二〇
約廿日分　三、〇〇
約四十日分　四、〇〇

酒銘　清世界
各炭鑛御用達　小野晋平
電話六番

石城小名濱港
清水屋



毛糸の御仕入は今！

先づ色見本と値段表御請求下さい！

平町町田
ハシモトヤ糸店

内科・小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

醤油醸造元
鹽屋
山崎合名會社
電話一〇番

特賣!!
たひら正宗
福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領

診療時間　夜

胃腸　内科　二十指腸病
虫病
専門部

梅毒　淋病
婦人病
皮膚病
専門部

外科

松村胃腸病科醫院
（平南町電話一〇七番）

苦惱の病床に語る
磐炭全山の隆盛
見舞の代表一行を迎へた
淺野社長邸の劇的シーン

淺野社長の重態を憂慮した磐城炭礦山元では既報の如く去五日社宅世話役、組長を見せてゐたが今は流動的募集員、青年會、修養團幹部の役付聯合會で社長の見舞を決議してから僅か五日の間に極めて零碎な額づつの金が集まつたので

第三斜坑佐藤作藏、町田坑小豆畑喜之、高坂坑佐藤啓治、同高橋宇助、綴製作所鈴木益次、

以上五名の從業員代表が去る十三日早朝濱崎勞務課長に引率されて上京前川專務岡部主事菅原所長濱崎課長と共に社長邸に到り三四日前大磯の別莊を引き上げて以來重態の爲め何人にも絶對面會謝絶の裡にある翁の病室に入り前川專務から日本絹表裝の見舞名簿と目録(三越製羽布團一組)を贈つた翁は病床の苦惱に息遑へる程面痩れた身を床の上に横たへて小名濱築港計劃の圖面を示し「どうしても五十萬噸を船で囲す樣にしなければならぬ絶の方針を何處までも遂行するよう」などと語つて例の元氣を見せてゐたが今は流動的募集員、青年會、修養團幹部の役付聯合會で社長の見舞を決議してから僅か五日の間に極めて零碎な額づつの寄附はあるが三千七百九十三人から百五十二圓五十四錢の金が集まつたので

最近重態を傳へられる淺野磐炭社長

淺野社長の重態を憂慮したが一行の外は翌十四日たゞ元平町では大會を盛大にかつ意義あらしむるため町費から三百五十圓を寄附することになつた又石城郡下の出場選手も優勝を期して猛練習を續けてゐる

告した

素晴らしい 平の前人氣
來五日開催の 青年體育大會

縣下の青年體育大會は來月五日午前八時から平町磐城中學校庭に開催されるが地元平町では大會を盛大にかつ意義あらしむるため町費から三百五十圓を寄附することになつた又石城郡下の出場選手も優勝を期して猛練習を續けてゐる

投槍 歡迎
健康を追ふ

僕が東京にゐたころ近所の某家の爺いさんが毎朝早く庭に下りて一生懸命体操をしてゐるのを不思議に思つて見てゐたものだ雨の降る日などは縁側に凭て徒手体操をやつてゐた。

◇

それを見るたびにいゝ年をしてそれほど先に執着してゐる未練さに對し僕はあらぬ嘲笑と輕い反感すら禁じ得なかつたものだ、その後あの爺いさんは死んだかどうかと判らないが今でも折々あの爺の姿を思ひ出す。

◇

あれからもう十七、八年過ぎる、そのころ人の健康禮讃を笑つてゐた僕も今では大分年をとつた、そして年一年と體が弱つて來るのを覺る。

◇

大した家族もないが家には妻と一人の子供がつゞくらのやうに僕の働いた賃銀によつて餌を求めるべく口今年はウル年に當り同期間中は繁つ廚化後の初たので雛の數た

◇

十月十五日より解禁される鳥獸類は兎、鴨、鳴、ウヅラ、クイナバン等で昨年は拜みたくも小鳥一羽もろくに見かけない程であつたが、今年は人家近くの雑木林や野立木にも雑や小鳥のあるので來回日曜十二日に

秋の碧空をつんざく快よしして胸を躍らせながら獵銃の手入れにいそしんで狩獵家の此のごろが思ひ浮ばれる

手ぐすねひいて 解禁を待つ天狗
碧空にこだまする 男性的な銃聲の魅惑

秋の碧空をつんざく快よしして胸を躍らせながら獵銃の手入れにいそしんで狩獵家の此のごろが思ひ浮ばれる十月十五日の解禁を前に、かくもをさ〳〵怠りなく準備が進められてゐる

にある同字羽賀寺太郎氏所有沼約二十坪を更に十坪程擴張して養魚場とすべく同部落の人々はその昔沼の附近を流れてゐる新田川に棲息した大鰻が事中この程地下五尺の箇所より異樣の魚骨らしいものが多數現はれ中には長さ六尺以上に及ぶ脊骨等もまに

五尺餘の地中から 珍妙な白骨を發見
土砂に潰された大鰻か 仁井田浦秋のトピック

石城郡大浦村上仁井田地内つてゐたので同氏は學界の參考資料になるのではないかと目下自宅保存中だが同

人知れず出來て居た 平町の缺食兒童
パンを給する計劃だが 標準決定に惱む當局

平町役場では各小學校に於ける貧困兒童救濟の目的で過般來精密調査の結果貧兒と見るべきものは第一の二十五名を筆頭に各校を通じ五十餘名の多きに達し尚ほ精査するときは恐らく七、八十名には達すべく一段の精査を進めてゐるが是等貧困兒童には二十六日からパン一個宛を供給する筈であるが役場當局としても缺食兒童の標準を定めるはその間極めて至難な事情あるのみならず表面上父兄側の抗議と一部からの非難を顧慮し標準決定方法に惱んでゐる

庭球大會 延期

五日を十二日に

本社主催第九回郡下少年庭球大會は來月五日の日曜を目十九總貫數七貫五百八十匁累計貫數二萬一千二百九十貫二百十匁累計金額四萬二千三百六十四圓八十八錢であるので

四倉繭市況
最高一圓八十錢

四倉繭市場十七日の相場は最高一圓八十錢最低一圓六十八錢平均一圓七十七錢掛

延期雨天順延の事に變更した

兒童競技會

第三區平町外十五ヶ町村聯合小學校競技大會は二十四日午前九時から平町磐中グラウンドに開催される、種目は陸上十種競技で目下各校では猛練習をなしてゐる

拐帶局員は 土浦邊に?
川前村遠藤榮吉

既報小野新町橋町郵便局員川前村生れ遠藤榮吉(二六)は過般來二千八百五十圓を

衝突又衝突
自動車事故三重奏

平町二丁目尼子自動車運轉手豊間村沼の内鈴木正(二九)は十七日午後六時頃内郷紺御厩久世原地内を疾走中前方湯本方面より來た神谷村中神谷潮戸志賀ヨシノ(三二)の荷馬車に衝突前額部裂傷全治一週間の傷を負はせた上荷馬車を溝へ轉落せしめた折柄左方より無燈火で自轉車を疾走して來た内郷村御厩久世原葛西留五郎(四〇)と衝突右足膝關節部に打撲傷を負はせ自轉車破損(價値三圓)を與へた

拐帶逃走したが土浦町邊に隠れてゐるらしいと云ふので局長からこの程五十圓懸賞付で捜索方を願ひ出でた

秋の夜のつれづれに 賭け事を慎しむよう
徹底的に取締る!!と 平署の怖い目が光る

盆祭分も次第に薄らいで石城地方の昨今は全く秋の色どりを見せてゐるが例年この頃の夜長に徒然の餘りかあらぬか花合せやトランプ或は今流行の麻雀等で賭博行爲が盛んに行はれるので平署では今年は早くから跳の種犯罪防止のため刑事連が活動を續けてゐるこれについて平署では

「例年季節的に賭博行爲は云々」

この頃が一番多いので當局でも犯罪防止の活動中だが、一般でも可成賭博類似の行爲を避けるやうに努めて欲しい、夜長の退屈しのぎに花合せや賭將棋が盛んに行はれるのは此の地方ばかりでなく殆んど全國的だらうが殊に炭礦地帶から石城地方には殊に多いやうで今年は此の種の犯罪を根絶したいと思ふ」

橋本校長着任
磐中

校長橋本文藝氏は昨十七日四號二面不成績極る局の度量衡素人なら罰金)と題する記事中左記郵便局備ひ付衡器は不合格となして平局和五年九月十七日平郵便局不合格と掲載しあるも右受長磐城新聞社御中

平穀檢査所管内 檢査成績と價格
最近其筋發表統計

本縣においては九月一日より米の移出並に生産檢査を實施したが十日までに至る上旬の生産檢査高は賀に六百二十俵、移出米檢査高は四千四十六俵であつたが平支所の扱に係るものは移出米百十二俵生産米二百五十俵である尚ほ十五日現在の縣下米價の市況は産米二十五圓八十三錢移出玄米二十五圓八十九錢同白米三十一七圓八十九錢同白米三十一圓十九錢で前旬に比較し産米十五錢移出玄米二十九錢同白五錢何れも下落したが原因は新米の出廻りの結果で平支所關係の分は産米二十五圓移出玄米二十六圓同白米三十圓五十錢である

歸すべし△六白の人 口故に大事を敗る事あり默する吉凶なり△五黄の人 自儘の氣の生ずる時は物事失敗に

巴うの子一行
今夜聚樂館で

昨十七日まで福島市に開演して每夜滿員の盛況であつた東部女流浪界の花形巴うの子一行は更に今十八日より二日間平町聚樂館に開演

第九回郡下少年庭球大會

日時 十月十一日(雨天ノ際ハ十九日)
場所 元平商業學校々庭
參加資格 小學兒童ニシテ尋、高、ニ拘ラズ一校二組トス(但シ高等科二年生徒ヲ限度トス)
試合方法 (イ)ゲームハ五回トシ決勝ハ七回 (ロ)コート及ボールハ普通軟球規則ニヨリ組合セハリーグ戰トス
優勝期 其ノ年ノ優勝校ニ次回マデ之ヲ保持セシメ參回連勝校ニ授與ス
優勝校 澤渡尋常高等小學校

郡下少年庭球大會
主催 磐城新聞社
後援 平庭球倶樂部

ネオンサンイ

明日……吉の凶
七月九日 舊暦廿日 新月
暦七月九日

鹽豚販賣
ハムようまい

田町 三二三屋

入院隨意(自宅の如き)
X光線科 外科 專門
平南町 上田外科醫院 電話一二九
病室完備

平町田町 高久病院 電話五一三番
醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽滿 藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

專門 內科一般
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井內科診療所 電話七二二番
醫學士 川井重之 女醫 川井安子

平新川町十九 木村病院 電話一六四
產婦人科 院長木村寅次郎 女醫 木村コウ
內臟外科 整形外科 醫學士 松永憲一
藥局 東京藥學士 萩原駿二

皆樣の 昭和タクシーは 此際御得意樣 本位に
貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前 電三四三 澤正路